

FD・SD

プログラム番号 2802B

国際連携系職員養成プログラム(レベルⅡ) 留学生受入実践

■講師



Ruth Vergin

(愛媛大学 国際連携推進機構 国際教育支援センター 教授)
University of Puget Sound, Tacoma, Washington, USA 卒業。1996年より愛媛大学農学部留学生担当講師となる。2002年に愛媛大学留学生センターに異動し、全学の留学生生活支援を担当すると同時に、日本人学生の海外派遣プログラムの開発・支援にも携わる。専門は異文化コミュニケーション。



高橋志野

(愛媛大学 国際連携推進機構 国際教育支援センター 准教授)
Asian Studies, University of British Columbia, Canada の M.A. 修了。2002年より愛媛大学留学生センターで、留学生への日本語教育、日本語教員養成教育に取り組むと同時に、留学生日本語ボランティア J-support システムの運営に携わる。専門は言語学・外国人に対する日本語教育。

■プログラム概要

外国人留学生にとって「安心できる魅力のある受入体制」とは、どのようなものでしょうか。各教育機関で実施してきた「過去の留学生数に基づいた」取り組みは、最近の外国人留学生受入数の増加・多様化に伴い限界に近づいてきており、多くの機関で新たな受入体制の構築が求められているのではないのでしょうか。

本プログラムでは、大学教職員が連携して運営している受入体制の一事例として、愛媛大学の事例を紹介しつつ、留学生受入の際の必須項目そして現状と課題を確認していきます。特に、地域リソースの活用方法・ネットワーク形成については、参加者全員で自分達の実践事例(失敗談や現在進行中の事例も大歓迎です)を積極的に共有することで、それぞれの教育機関で効率的で有効な「大学教職員が一体となった受入体制構築」が可能になることを期待しています。

■主な受講対象

学内の国際交流に関わる立場、または国際交流に関わる業務に関心のある教職員

■本プログラムの到達目標

1. 留学生入学ガイダンスを設計し、実施することができる
2. 留学生に問題が生じた場合、必要に応じて専門家へ紹介することができる
3. 地域や行政等関係諸機関との連携を構築することができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木)13:00~17:30

会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 136番教室

定 員 : 32名